

令和2年度 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

7配付7回収

公表： 令和2年 2月 25日

事業所名： 第2放課後等デイサービスささゆり

	チェック項目	はい	いいえ	取り組み状況及び課題や改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	5	・学習時には個別の机があり、静かに集中して取り組める専用の部屋がある ・集団活動の時間には机や椅子を移動し、広く活動しやすい空間を設けるなど工夫している
	2 職員の配置数は適切であるか	3	4	・保育士が2名、児童指導員(学校教員免許保有者)が4名いる ・基準よりも多く配置している
	3 常時見守り等が必要な子供に対する対応等を想定して、通常基準より多い指導員数を配置する等の配慮がなされているか	3	4	・上記同様に基準よりも多く配置し、場面に応じて個別対応ができる支援体制を心掛けている
	4 事業所の設備等について、利用者に応じた配慮が適切になされているか	4	3	・静かに集中して学習に取り組める個別の机や専用の部屋がある ・トイレにも手すりがあり自立や安全面に配慮している
	5 指導室内は個々の子どもの状態に配慮した環境調整が行われているか	7	0	・学習部屋で集中して取り組みやすい環境がある ・クールダウンがしやすいように静養室がある
	6 事業所内の安全対策が十分に取られているか	4	3	・施設外周に防犯カメラ設置、全フロアに防災のクッションマットなど安全管理、事故防止マニュアルを作成しそれに基づき支援している
	7 事業所内は常に衛生的な状態に保たれているか	6	1	・児童、職員の手洗いうがいの徹底、アルコール消毒など感染症予防・対応マニュアルを作成し、それに基づき支援している
業務改善	8 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員参画しているか	5	2	・日々、朝礼や終了時に事例を出しての検討会議、モニタリングや担当者会議などの情報共有を行い、PDCAサイクルに努めている ・職員間の周知を徹底し、資質の向上に努めていきたい
	9 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	1	・保護者アンケートを実施することで課題を明確にし、保護者等の意向を把握して業務改善につなげていきたい
	10 自己評価の結果を、事業所ホームページ等で公開しているか	2	5	・毎年実施している
	11 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	5	・今後検討していく
	12 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	2	・新型コロナウイルス禍ではあるが、伝達講習等、施設内研修をできる方法で行い資質の向上につなげている
適切な支援の提供	13 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	3	・アセスメントだけでなく必要に応じて各関係機関と連携を図り可能な限り客観的に分析した上で計画の作成をするよう努めている
	14 子どもの状態を把握するため、また支援に対する進歩を把握するために、統一したアセスメントツールを継続的に使用しているか	7	0	・月間報告書を作成し学校や相談支援事業所へ報告等を行い連携をとっている ・モニタリング等の前には、職員会議を行い計画の評価し検討している
	15 子どもに応じたプログラムを立案できるよう、必要に応じてチームもしくは複数名の職員で検討しているか	6	1	・児童の様子や意向を取り入れながら特性を理解し、学習療育やイベント等の活動内容にその児童に合ったねらいや目標をもって取り組めるよう職員で検討している
	16 子どもが楽しんでプログラムに取り組めるよう工夫(固定化させない、子どもが主体的に選択する機会を設ける等)しているか	7	0	・個別活動だけでなく集団活動やイベントなどにも児童の意向を取り入れるなど固定化しないよう工夫している
	17 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	1	・平日と学休日、長期休暇でそれぞれ活動内容に変化を持たせ、その児童に合った課題に取り組めるよう設定している
	18 子どもの状況に応じて、個別、集団による支援を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	・個別、集団活動において児童の特性を理解し、課題の把握をしながら計画の作成ができるよう努めている ・今後は、更に個別・集団活動を充実させていきたい

適切な支援の提供	19	ガイドラインの総則の基本活動(自立支援と日常生活の充実のための活動・創作活動・地域交流の機会の提供・余暇の提供)を複数組み合わせた視点から、計画的に支援を行っているか	7	0	・地域にご協力いただきお店や銭湯の見学、スーパーへの買い物体験および店員さんとのやり取り、伊賀鉄道を利用し乗車マナーや利用方法の学習など生活能力の向上を目指した支援を行なっている
	20	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	1	・朝礼時に確認できている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	2	・緊急を要するものには当日に、そうでないものは翌日の朝礼で業務日報や児童の様子など共有事項として振り返っている
	22	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	・上記同様、ケース会議等で振り返ることで改善につなげている
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	1	・6ヶ月に一度、事前に評価会議を行った上でモニタリングを行い、計画の見直しを検討している。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの発達障害の状況に精通した最もふさわしい者が参画できるようになっているか	5	2	・全体を把握した児発管が参画している
	25	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	2	・サービス担当者会議で共有し、新1年生に関して保育訪問を行い、情報共有している ・利用にあたって小学校との会議等で連携を実施している
	26	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻等の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	1	・日々の様子を送迎時に確認するとともに、送迎や行事等の把握の為に必要に応じ電話や訪問等で連絡調整している ・月間報告書を作成し情報共有している
	27	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内等の情報を提供するなどしているか、またはその体制ができていますか	0	7	・現在、高校生を受け入れておらず、卒業や卒業見込みのある児童がいない為、今後必要に応じて体制を整えていく必要がある
	28	事業所内スタッフでの対応が難しい身体合併症等により医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、主治医等から意見を確認する等その対応方法について具体的に協議されているか	2	5	・通院している児童については主治医の意見を保護者等や相談支援事業所と情報共有している ・医療的ケアが必要な児童を受け入れる場合は対応方法について考えていく
	29	事業所外の専門機関・専門家等と連携し、助言や研修を受けているか	5	2	・県、市、外部研修を受けている ・積極的に外部の研修に参加している
	30	放課後児童クラブ、児童館の利用等、地域での他の子どもと活動する機会に対しての支援を行っているか	0	7	・新型コロナウイルスの影響で今年度は行なえていない ・今後検討していく
関係機関や保護者との連携	31	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	2	5	・上記同様、今後検討していく
	32	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	2	・送迎時などにその日の様子を伝え、モニタリング等などの面談時に発達状況や課題についての共通理解を深めている ・連絡帳や送迎時の共有だけでなく、日々の様子をweb上の専用ページから写真等を見ることができ共通理解に努めている
	33	保護者の子どもへの対応力の向上を図る観点から、家庭での対応方法などについて助言等の支援を行っているか	4	3	・上記同様、連絡帳や送迎時、web上の専用ページ、面談等で行っている
	34	保護者の子どもへの対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援に関して情報提供等を行っているか	2	5	・上記同様、送迎時や面談時等で情報共有している
	35	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	4	・出来る限り丁寧に伝わりやすさを意識して説明し、必要に応じて再度説明を実施している

保護者への説明責任等	36	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	1	・送迎時や連絡帳での対応だけでなく、必要に応じて面談やモニタリング等で実施している
	37	保護者からの相談対応の状況に応じて、適切な他機関・他サービスにリファーする、もしくは情報提供等を行っているか	5	2	・相談内容の記録を付け、必要に応じて相談支援事業所と連携を図り、担当者会議等で情報共有に努めている
	38	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1	・苦情内容に記録を付け、職員間で周知するとともに保護者等への周知・適切な対応を可能な限り迅速に行うことを心掛けている
	39	父母向けの座談会・保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	7	・2月に親子ふれあい会を行なったが、それ以降は新型コロナウイルスの影響で実施できていない
	40	定期的に活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1	・個々に活動の概要や予定など発信している ・イベントカレンダーやLINEのタイムラインを用い配信している
	41	個人情報に十分注意しているか	6	1	・個人情報保護マニュアルおよび同意書を作成し、それに基づき支援している
	42	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための合理的配慮をしているか	5	2	・特性を理解し、児童に合った伝え方や聞き方を意識している ・保護者等へ伝わりやすいよう電話、連絡帳、メールなど使い分け、大切な情報は出来る限り直接伝えている
	43	サービス提供中の子どもの様子を保護者が把握できるよう努めているか	6	1	・送迎時や連絡帳だけでなく、伝わりやすいようその日の様子をweb上の専用ページから写真等を見ながら把握できるようになっている
44	事業所の行事に地域住民を招待するなど地域に開かれた事業運営を図っているか	0	7	・昨年度は老人デイサービスと交流を行なったが、今年度は新型コロナウイルスの影響で実施できていない	
非常時等の対応	45	リスク管理マニュアル、衛生管理マニュアル、災害時の対応方法等について策定し、職員や保護者に周知しているか	4	3	・定期的に研修を行い見直しをしている ・各マニュアルを作成し、それに基づき支援するとともに周知に努めている
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	2	・虐待防止マニュアル、身体拘束廃止マニュアルを作成し、それに基づき支援するとともに、外部の研修会に参加し意識を高めている ・今後は、更に職員間のケース会議を増やしていきたい
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	1	・防災マニュアルを作成するとともに、児童と一緒に年2回の避難訓練等を行っている
非常時等の対応	48	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、保護者に利用契約時に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画にも記載しているか	3	4	・現在、身体拘束を必要がないため、記載していない
	49	アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	3	・現在、大きなアレルギーをもっている子どもはいないが、情報を共有し対応をしている ・アセスメントや担当者会議等で得た情報を基に共通認識を持って支援している
	50	ヒヤリハット事例について、その改善策を検討し、報告書を事業所内で保管、ヒヤリハット事例の内容について周知共有しているか	4	3	・事故、ヒヤリハットの記録を付け、事例について会議を行い必要に応じて保護者等への報告も実施している